

2025年6月のNO₂ (二酸化窒素)測定結果

東都生協では「身近なところの空気を実際に測って確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいのか」を考えることを目的に1988年からNO₂(二酸化窒素)測定活動を実施しています。

測定結果は「大気汚染測定運動東京連絡会※」に提供。同会では生協の他、さまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開しています。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。

測定日の
気象状況

測定日時 2025年6月5日(木)午後6時～6月6日(金)午後6時
※前後2時間を有効とする

天 候 6月5日(晴れ) 平均風速：3.1m/S
6月6日(薄曇り一時晴) 平均風速：4.3m/S

測定規模

・参加人数：205人
・カプセル配付数：223個
・カプセルの返却数と回収率：200個(89.7%)
・有効とした測定数と回収率：172個(77.1%)



測定結果

2025年6月の測定活動にご参加いただきありがとうございました。

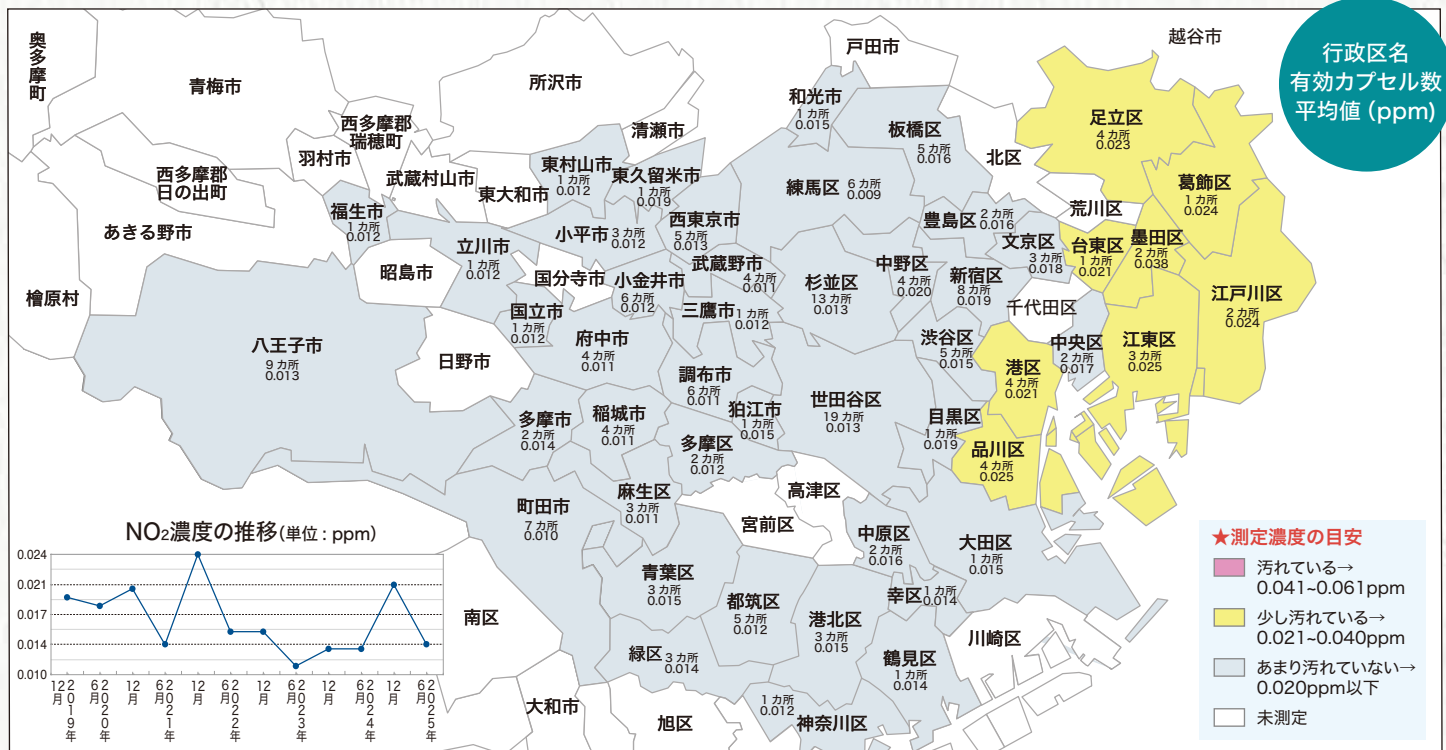
地域別の測定結果

測定地域	測定結果	前年実績
東京都全体	0.014	0.013
東京23区	0.017	0.014
東京多摩地域	0.012	0.013
神奈川県	0.013	0.012
埼玉県	0.015	0.012

❖大気汚染測定運動東京連絡会❖

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。

東京連絡会全体で取りまとめた測定結果は、東京都や環境省に報告され有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。



2025年度第3回定例理事会(2025年7月17日開催)

審議事項 ●2025年度第51回通常総代会のまとめ確認の件 (その2)

報告事項 ●2025年6月度決算報告 ●各部署業務報告
●組合員活動委員会報告 ●商品活動関連報告
●2025年度子会社・関連会社への役職員の派遣に関する件
●㈱コープロジスティクス東京への貸付の件
●常任理事会決議事項報告

2025年度第4回定例理事会(2025年8月21日開催)

審議事項 ●2025年度下半期重点確認の件
●共同購入事業における手数料制度改正の件 ●宅配事業約款改正の件

報告事項 ●2025年7月度決算報告 ●各部署業務報告 ●組合員活動委員会報告
●商品活動関連報告 ●㈱コープブレッディースト事業の経過報告の件
●理事懇談会開催の件
●常任理事会決議事項報告

今後の理事会日程(予定) ・11月20日(木)

<7月の私たち>

2025年7月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数 262,730人 [100.1%]
加入 4,090人 [68.5%]
脱退 3,698人 [90.8%]

総事業高 11,147,948千円 [99.7%]

共同購入事業 10,667,648千円
弁当配食事業 135,010千円
生活文化事業 82,493千円
生活支援事業 25,951千円
その他事業 236,847千円

出資金 6,471,663千円 [97.7%]

1人当たりの出資金 24,632円 [97.6%]
1人当たりの利用高 6,492円 [105.0%]

MOGMOGレポート

10 2025
月号report
01
6月14日

防災体験
「東京直下
72時間ツアー」
第7地域委員会

ここは東京・有明、東京臨海広域防災公園内の建物「そなエリア東京」。この中をめぐる約30分間の防災体験ツアーです。

「もし今大地震が起きたら」という想定で、余震の残るジオラマの中を避難。自力で生き残らなければならない72時間を、各自タブレット端末を手にクイズに答えながらまわります。臨場感を味わいつつ、自然に知識が身に付く仕組みで、ツアー後はさらに詳しい情報を展示や映像で見られます。

参加者は「こんな場所があるのを知らなかった。もっと宣伝してほしい」「新しい発想のツアーで楽しみながら勉強できた」という方が多数。多言語による表示や説明があり、「防災情報に触れづらい外国人の方にもぜひ来てほしい」という声も。より多くの方に参加いただきたい、楽しく意義あるツアーでした。

report
02
6月25日

(農)茨城県西産直
センターで収穫体験！
とーとフレンズ 岡本フレンズ

当日の天候は土砂降り。午前中の収穫体験は予定を変更し、生産者の方が収穫したとうもろこしと小玉すいかをいただくことに。産地事務所に場所を移しての昼食交流会ではカレーライス、きゅうりの塩もみやかぼちゃの煮物など、収穫したての野菜を使った献立が用意されていました。

中でもきくらげのお刺身は参加者に大人気！1枚が手のひらくらいの大きさで分厚く歯応えがあり、食後の即売会では即完売でした。

参加者からは「作物の一番おいしい時期を見極めて収穫しているという話に感銘を受けた」「生産者と交流することで、今まで知らなかった話が聴けて勉強になった」などの感想が。帰りのバスの中からスカイツリーにかかる大きな虹を見ることができたのも良い思い出となりました。

report
03
6月27日

(有)山形南陽のんのん
倶楽部試食交流会
とーとフレンズ はなこカフェ

箱の中から真っ赤な顔が覗いた時にはどこからともなく大歓声が！さくらんぼの産地(有)山形南陽のんのん倶楽部の鈴木秀男さんをお招きし、果物作りの話やおいしい食べ方などを伺いました。

持参してくださったのは紅秀峰と紅王の2品種。どちらも甘さが濃く、ブリブリと口の中ではじけるこの食感...たまりません。特に紅王はかなりの大粒で、「一口で食べるのはもったいない」との声も聞こえてきます。

「山形県にはすいか、桃、りんご、ラ・フランス...おいしい果物がまだまだありますよ。ぜひその味を確かめてみてください」と鈴木さん。

産地にも行ってみたいとの声も上がり、何やらファンクラブまでできそうな勢いです。外は暑い、でもみんなの心は熱い。そんな有意義な一日になりました。

Pick
up

ツナグ・カフェ&フレンズ報告

開催日：6月18日 会場：亀戸文化センター 主催：第1地域委員会

第1地域の6月のツナグ・カフェは、お茶菓子を楽しみながら「とーとフレンズ」や「商品委員」から活動の様子を聞き、共有する機会として開催しました。16人の参加があり、「東都生協のお気に入り商品は？」の話題では、旬のトマトをはじめとする野菜、調味料、東都生協プライベートブランド「わたしのこだわり」を使った簡単レシピなど、「そんな食べ方があるのね」の声もあちら



「東都生協アプリ」の全体説明を受けた後、個別対応。

こちらから聞かれ、会場が一気に盛り上がりました。

その後6つのとーとフレンズメンバーから、企画報告や今後の活動予定を聞き、「次に企

画される産地・メーカー交流訪問には参加したい！」とメモを取る姿も見られました。

後半は、Web推進室職員を講師に新しい「東都生協アプリ」について説明会を実施。「まだアプリをインストールしてなくて」とその場で登録する方も。「組合員コードが分からない」「パスワード、何だったかな？」—職員に丁寧に教わりながら登録



完了。さっそく注文をしてみ「便利ね～」の声も上がりました。アプリでの活動の広がりが楽しみな笑顔の交流会でした。

グループでは、アプリの使い方を教え合いました。



当日の配布資料と試食品